

桜島地域における 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00～19:00

場所: 桜島公民館

※ 令和2年度 第1回目

令和2年8月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	① 桜島港フェリーターミナルは、新しくなったもののターミナルそのものが観光客や地元の人が十分楽しめるスペースになっていない。コミュニティスペースや多目的ホールは全く活用されておらず、3階スペース等を含め、もっと活用する方法があると思う。民間事業者や地元の人がもっと利用しやすくなるような工夫するほか、船舶局が民間事業者の力を借りてイベント等、様々な活用方法を検討し、行政の発想だけでなく、柔軟な発想とアイデアでターミナルを面白い空間に変革させるチャレンジをお願いしたい。	① コミュニティスペースについては多くの方に利用してもらいたい。様々なイベント等を含め、桜島の魅力を紹介する一つの拠点にならなければならないと思っている。 ご提案のとおり、アイデアを凝らし、船舶局だけでなく地域に住んでいる方々の想いをコミュニティスペースで発揮していただければと思う。 また、いろいろなアイデアがあろうかと思いますが是非、団体から船舶局にご相談やご提案をいただければと思う。	船舶局	市長回答のとおり
2	桜島しまおこし隊	② 当団体は関東郷土会とともに、桜島を名実ともに世界に誇る「桜の島」にしたいという夢をもち、「桜島1万本桜」という活動を推進しており、現在、桜島の子供たちと一緒に桜島固有種の山桜の種子を苗木に育て、国有地等に植樹している。 また、全国各地に「1万本桜」の名所があるが鹿児島県にはないため、本活動により、桜島に「1万本桜」の名所ができれば国内外に桜島をもっとアピールできるのではないかと考えており、桜島にある市管理地についても開放していただき、桜の苗木を提供及び植樹をさせていただきたい。	② 私も市長に就任して、関東郷土会から桜島を世界に誇る桜の名所にしたいため桜を植えPRしたいとの声を聞いている。私もたいへん良いことだと思い、国立公園の所管となる県の文化課にも申し伝えているがなかなか許可がおりないところである。 それから、桜がたくさんある島だと思って来たのに、一部はあるが呼称に匹敵するようなものがなかったため残念だという声も聞いている。やはり桜がたくさんあれば魅力的であると感じる。 なお、大規模な植樹をする場合は、桜島に自生する植物から種子を採取し育ったものであれば可となるということであるので、ご発言いただいたとおり桜島に自生する山桜の種子から育てたものであれば実現できると思う。 また、県の方へお伺いをたて、出来るだけ実現できればと思っているので担当部局にも県との折衝をとるよう指示したい。	教育委員会 市民局	【教育委員会】 これまで同様、県指定の「名勝 桜島」の現状変更手続(山桜の種子採取)を通して、関東郷土会の活動を見守っていきたい。 【市民局】 支所を含む島内の市所有地においては、支所が中心となって各施設等のスペースや管理の面で検討し、植樹の可能性について関係部署と調整したいと考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和2年6月26日(金) 18:00～19:00

場所：桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	桜島コミュニティ協議会連絡会	③ 桜島地域のまちづくりとして、各コミュニティ協議会でコミュニティプランを作成し、活動に取り組んでいる。これまで地域の方々に「元気、ふれあい、絆を」との目標に活動してきたが、今後、市としてはどのようなまちづくりの方向性を持っているのか。そのまちづくりに対して、コミュニティ協議会としても何に重点をおいて活動していくべきか、市がコミュニティ協議会に期待するものをお示しいただきたい。	③ コミュニティ協議会は、市内全域に設置をしていただいているが、「自分たちの町は自分たちで作っていこう」、「自分たちのまちの特色、魅力を後世に伝えていく」、「絆を深め連携をしっかりと高めていく」ことでそれぞれの地域振興のために協議会を作っていただいている。桜島には4つの協議会がございしますが、コミュニティ協議会には引き続き、自助・共助・公助の3つのバランスを踏まえて、自分たちのまちは自分たちの手で作っていくという意識をもって、地域の課題解決に向けた活動を続けていただきたい。 また、桜島地域は人口減少が顕著で高齢化も進んでいる地域であるが、皆さんの活動や声が大事であると考えている。 それから、今年は新たに「桜島地域おこし協力隊」を2名募集し、桜島に住んでいただき、桜島地域のコミュニティ協議会の皆さんと一緒に地域おこしを行っていただきたいと思っている。 そして、コミュニティ協議会は地域の特色を生かした取り組みができるので、アイデアを出し、一致団結したまちづくりについて、地域おこし協力隊の方とも連携し、活動に取り組んでほしい。	市民局	コミュニティ協議会については、今後も桜島地域の地域課題解決に向けて活動いただき、支所で各面から協力・支援を行っていきたいと考えています。 また、今年度から地域おこし協力隊を設置し、協力隊とも連携をとりながら、地域の特色を生かしたまちづくりに努めていきたいと考えています。
4	桜島果樹部会	④ 桜島小ミカンの被覆栽培の施設が既に20年を超えており、保守修繕が必要な状況であるため、施設修繕の補助をお願いしたい。 また、桜島支所に野菜と肉用牛の技術指導員はいるが、ミカンの技術指導員がいないため、配置をお願いしたい。	④ ご案内のとおり、桜島に限らず降灰地域においては、ビニール張替え、屋根掛けハウスやトンネルハウス等の補助制度のほか、様々な支援を作物の災害の防止軽減のために本市単独事業として実施している。 なお、ハウス部材の修繕については、市事業の支援で設置したものについては、各組合にて減価償却されていると思うので組合の自助努力で対応していただきたいが、状況把握は必要と考えており、実情について、詳しく教えていただきたい。 また、ミカンの技術指導については、本市では農業技術を専門的にアドバイスするアドバイザーとしてJAのOBの方に来ていただいております。その方を派遣しアドバイスできないか、その方のネットワークを通じて専門的なアドバイスができないかを検討してみたい。	産業局	ミカンの技術指導員の配置について、本市では、桜島農林事務所に2名、嘱託1名、東桜島農林事務所に2名、計5名の農業技師を配置しており、県、JA等の技術員とも連携を図りながら農業経営の改善指導に取り組んでいます。 また、平成28年度までは果樹の営農指導員を配置しておりましたが、現在欠員となっております。欠員については、随時募集を行っているところですが、補充には至っていないところであり、ご理解をいただければと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	島のかあちゃんおもてなし隊	⑤ フェリーターミナル近くの桜島恐竜自然公園は、市内の園児や家族連れ等、多くの方が訪れている。週1回のトイレ掃除のほか、時々草刈りを行っていたが、もう少し公園の周辺環境整備をお願いしたい。10年前までは、フェリーから恐竜の首がみえていたが、現在は、木が生い茂り、ほとんど見えていない状況のほか、トイレ周辺に木が生い茂り、子どもたちから怖くてトイレに行けないという声がある。	⑤ 私も桜島恐竜自然公園に何回か行ったことがあるが、子どもたちも楽しめる施設もあり、たいへん素晴らしい公園である。特に多くの方が訪れる施設のトイレの清掃等の環境整備は最も大事であると考えます。本市は「まちを美しくする条例」を作っており、環境に配慮した取組みを進めていくべきだと思う。 なお、トイレの清掃は週1回実施し、係員も定期的な巡回をしているが、なかなか行き届かない面もあるかと思うので私の方から担当部局に公園の環境整備をしっかりと指示したい。 また、木が生い茂っているのであれば裁断する等、楽しく遊べるような公園を維持できるよう気を配ってまいります。	建設局	桜島自然恐竜公園につきましては、定期的に巡回を行うとともに、業務委託等により週1回のトイレ清掃、週2回の広場清掃、年3回の草刈、年1回の園路内の堆積土砂除去などの環境整備を行っているところですが、今後も巡回などを強化し、状況把握に努めながら適宜対応してまいります。 なお、ご指摘いただいた箇所を確認したところ、樹木の枝の密度が高くなっている状況が見受けられましたので、剪定等を行ってまいります。
6	桜島しまおこし隊	⑥ 現在、健康面でも非常に注目されている桜島大根であるが、生産量増につながる販路拡大策を提案したい。以前、桜島町が観光PRのため大分を訪れた際、保育園に桜島大根をプレゼントしたところ、グリム童話「大きなかぶ」の劇を行う等、たいへん喜ばれた。そこで、桜島大根を使った劇を子供たちに行ってもらい、動画配信すれば全国の保育園や幼稚園等から桜島大根を使用したいとの注文が殺到するのではないかと思います。大根の発注増により1本あたり大根単価もあがり、生産者増、遊休農地の活用につながるのではないかと考える。	⑥ 鹿児島県の名産品・特産品である桜島大根のPRを私自身トップセールスを通じてこれまで全国各地で行ってまいりました。最近では桜島大根に多く入っているトリゴネリンが体に非常に良いとされており、今日のお昼も鹿児島大学の准教授の方から「桜島大根は煮崩れしない、甘みがある、どんなものでも調理ができることだけではなく、体に良い影響がある」ということをもっとPRして欲しいと言われた。 また、ご提案のありました子供さん方に受けるような動画がもしできれば良いPRができると思う。 その結果、農家の方の流通の面で良い影響がでればと思います。	産業局	今後も、桜島大根コンテストなど様々なイベント等でPRを行うとともに、大学・県・JA等の関係機関と連携し、さらなる販路拡大や生産振興に取り組んでまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	⑦ 桜島の路線バスについて、数本で良いのでフェリーを経由し、市街地中心部(天文館等)に直接行ける路線が出来ればと考える。背景としては、バスとフェリーを乗り継ぐためには必ず100メートルほどある棧橋を歩かなければならず、杖をついている方や難儀している高齢者を良く見かける。桜島は高齢化が進む地域であるが、経済や生活面でも中心市街地との結びつきが強い地域でもある。採算面は別として、高齢者施策として福祉の観点から取組めればと良いと思うし、観光客にとっても市街地中心部から桜島へ直接利用することができれば、利便性も高くなると考える。	⑦ 桜島は高齢化率が本当に高い地域でもあり、交通の利便性については、船舶局と交通局の二つの企業体の調整が必要であると思う。 観光バスは直接市街地から桜島に向かう路線はあるが、生活路線としては実現していない。ますます高齢化が進めば、病院や買い物へ行かれるのを考えれば不便であると思うため、生活路線として検討していかなければならないと思う。福祉の面というよりは日常生活の利便性の課題として、船舶局、交通局のほか民間バス会社との調整も必要であると考えます。今回、課題をいただいたのでどういう形で解決できるか検討したい。	船舶局 交通局	【船舶局】 様々な課題について、交通局との協議、調整が必要と考えています。 【交通局】 桜島の路線バスにおいて、フェリーを経由し、市街地中心部を往復する路線を運行することについては、フェリーの車両航送料や運行に係る人員・車両が必要となってくるため、運賃が極めて高額になるなどの多くの課題があることや、現在民間事業者への路線移譲等の抜本的見直しを進めている中、採算面に大きな不安があることなどから、このような運行体系を構築することは交通事業者としては困難であると考えております。
8	桜島コミュニティ協議会連絡会	⑧ 桜島地域内の教職員住宅について、一部しか使用されていない。使用されなければ老朽化し、朽ち果てていくため、住宅環境を整え、教職員だけでなく住居を探し、必要としている方々に提供することが出来れば、地域の人口減少の緩和、地域人材の確保にも繋がると考えるので、教職員住宅の有効活用について検討していただきたい。	⑧ 今、アイデアとして頂いた桜島地域内の教職員住宅の活用ですが、住宅のほとんどが耐用年数を過ぎている。もし、入居が必要である方がおられたら活用していただければ良い方策だと思う。今、22戸の教職員住宅があるが、耐用年数の目安となる30年を超えているものが14戸ある。あと8戸のうち7戸は教職員の方が入居されている。これは教職員住宅として建てられているため、それ以外に活用するには規則があり難しいが、もし、そこに住みたい方が教職員以外で桜島地域に根を下ろして活動されたい方である場合は、住居の目的外として検討しなければならない。 また、そういう方がおられたら桜島支所にご相談いただければと思う。	教育委員会 市民局	【教育委員会】 現在空家である1戸も今年度で耐用年数を経過し、新たな入居は困難となることから、今後順次解体する予定です。 【市民局】 桜島地域への居住希望があれば、桜島支所で相談に応じます。(教職員住宅に関する相談は教育委員会にて対応を依頼します)

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	桜島コミュニティ協議会連絡会	⑨ 桜島港フェリーターミナルが新しくなり、住民はたいへん楽しみにしていた。ターミナルは住民にとって一番良いと考え作られたものなのか、観光のために作られたものなのかお聞きしたい。住民はとても使いづらい状況である。	⑨ 施設はそれぞれの目的があるが、ターミナルについては地域の方々が使うように方策を立て、それを目的としている。観光は観光としての役割があるが、使う方がいないとターミナルはなかなか使い勝手が悪いという思いになってしまう。ターミナルは使い勝手が悪いとのご意見であるが、できるだけ多くの方にアイデア凝らして、是非、皆様にはいろんな面で活用していただきたい。	船舶局	市長回答のとおり
10	桜島しまおこし隊	⑩ 桜島は、高齢化や過疎化が進み、私の周りにも足腰が弱くなり、市街地への通院もマイカーでいかざるを得ない状況の者がいる。桜島だけのことではないが、フェリーの車両運賃の往復分について何とか住民のために安くできないだろうか。	⑩ これまで要望があり、議会等でいろいろと検討・協議いただいた内容であるが、他の地域にもそういうことがありますので、全体のバランスを見ながら公平性を担保しながら取り組んでいく必要がある。 公共交通機関を連続して使えるような仕組みができないかという方策も考えており、桜島地域だけというものは今の現状では難しいと思う。ただ、病院や買い物スムーズにできるような手立てを構築して行く必要があると思う。	船舶局 交通局 企画財政局	【船舶局】 市長回答のとおり 【交通局】 桜島の路線バスにおいて、フェリーを経由し、市街地中心部を往復する路線を運行する公共交通機関を連続して使えるような仕組みについては、フェリーの車両航送料や運行に係る人員・車両が必要となってくるため、運賃が極めて高額になるなどの多くの課題があることや、現在、民間事業者への路線移譲等の抜本の見直しを進めている中、採算面に大きな不安があることなどから、このような運行体系を構築することは交通事業者としては困難であると考えている。 【企画財政局】 公共交通の乗り継ぎ・乗り換えの円滑化については、本市公共交通ビジョンの中でも取り組むこととしており、引き続き、関係機関と連携してまいりたい。
11	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	⑪ 溶岩なぎさ公園は、たいへん良いところであるが、芝ではない草が伸びてきている。定期的に草刈りをしておられると思うが、草刈りの頻度を増やし、きれいにしてほしい。 そのほか、市の管理地かどうかわからないが、遊歩道は水たまりがよくでき、また、ボードウォークは腐食箇所が多いため、補修等をお願いしたい。	⑪ 溶岩なぎさ公園の草刈り等については、頻度を増やして欲しいとの要望については、所管は公園緑化課になると思うが、桜島支所が確認し要請を行いたい。 また、遊歩道・ボードウォークについては、市の管理地であれば所管課にしっかり対応させたいが、県や他の所管であれば要望をお伝えしたい。	観光交流局	溶岩なぎさ公園は、県が整備し、管理業務の一部を市が担っております。草刈につきましても、県の定期的な作業に加え、市が生育状況に応じて適宜対応を行っております。今後につきましても、生育状況の把握に努め、より一層の対応を図ってまいりたいと思います。 また、なぎさ遊歩道につきましては、施設を所管する県に、水たまりやボードウォークの腐食状況をお伝えし対応を依頼したところ、今年度補修予定とのことでした。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	桜島しまおこし隊	<p>⑫ 桜島は世界的にも珍しい火山と人が共存する場所である。ただ、桜島の火山活動の歴史は大々的に紹介されているが、縄文式土器が発掘されたように2万年以上も前から桜島に人が住んでいることや、有村地区の薩摩藩武家屋敷等、桜島の文化的な遺跡について、紹介する資料館がないため、支所の中でも良いので作ってほしい。これにより全国のみならず、世界の方々に「桜島が噴火しても大丈夫である、安心してきてください」というアピールにつながる環境づくりにもなるため是非お願いしたい。</p>	<p>⑫ 桜島の歴史的な噴火については、本日来られている福島さんたちの桜島ミュージアムが説明し魅力を発信されておられますが、一方、歴史的な桜島の文化の継承も大切である。鹿児島市の生徒を含め、観光に来られている方にもどういった形で桜島の魅力を伝えられるかや、安全なところであるか等を教育委員会や観光セクションがどう情報発信できるか検討したい。</p> <p>また、本市は火山防災トップシティとして、日本にある火山を抱える多くの都市との連携を進めて行こうとしているが今年度はコロナの関係で会議ができていないが、桜島のいろいろな魅力を今後も情報発信ができるよう取り組んでいきたい。</p>	<p>教育委員会 観光交流局 危機管理局</p>	<p>【教育委員会】 桜島の小・中学校では、「総合的な学習の時間」等での学習活動の様子をホームページや報道機関を通して積極的に発信しております。例えば、「桜島の魅力を伝える」ということに関しては、桜島の小・中学校が、総合的な学習の時間等を中心に、情報発信をしているところです。</p> <p>例えば、学校農園で桜島大根を栽培し、競り市に参加するほか、県外の学校との交流学習を行っています。また、椿の実を収穫し、椿油を製油、販売もしています。また、毎年「桜島どんぐりころころ植樹祭」を行い、市内の約20校の小・中学校が緑の少年団を立ち上げ、育苗等をしているところです。</p> <p>文化面については、「桜島火の島太鼓」の演奏活動や、伝承芸能「小池島廻り踊り」や「鎌踊り」、「桜島音頭」の運動会等での披露を通して、桜島の伝統文化を継承しています。</p> <p>今後とも、関係各課と連携を図り、桜島の各学校の特色ある教育活動の成果を広く発信してまいります。</p> <p>【観光交流局】 市の公式観光サイトである「かごしま市観光ナビ」や市作成の観光パンフレットなどで今後も情報発信を行うほか、県外へのセールスやイベントの際におきましても、桜島の魅力を発信してまいります。</p> <p>また、桜島・錦江湾ジオパークの取組の中におきましても、桜島が活火山と人が共生する世界的にも珍しい場所であることを情報発信するなど、国内外への桜島の観光等のアピールに引き続き取り組んでまいります。</p> <p>【危機管理局】 市長発言のとおり</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和2年6月26日(金) 18:00~19:00

場所: 桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	⑬ 火山防災に関する国の研究機関の設立・誘致を行ってほしい。	⑬ 今年度、火山を熟知している方や火山対策に多くの功績のある方を一堂に集めた協議会を作ることとしている。京都大学の井口教授を中心に火山で最も秀でている方々、防災、観光面等を含め世界に名だたる火山の専門家を集め、協議会を作り研究していただくことが世界に魅力を発信する体制にもなる。 また、ハード面については、国土交通省の防災火山に対する研究機関があるが、ソフト面についても支えられるよう研究ができるようになればありがたい。火山と共生する都市として鹿児島がいかに魅力ある都市であるかを情報を発信するきっかけにしたい。	危機管理局	火山防災対策の強化については、国等に対し、桜島周辺の都市や全国の火山地域の市町村と連携して要望活動に取り組んでおりますほか、今年度、火山防災トップシティとして火山防災を専門的に研究する組織の設置検討に取り組んでおります。